

新ト協発第72号
令和6年8月29日

会 員 各 位

公益社団法人 新潟県トラック協会
会 長 小林 和男



大型車の車輪脱落事故防止の実証調査に対する協力事業者の募集について
平素は、当協会の業務運営にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、全国的に大型車の車輪脱落事故が相次いでいることから、当協会としても事故防止に取り組んでいるところですが、この度、公益社団法人全日本トラック協会から、国土交通省が行う「大型車の車輪脱落事故防止（ハード対策）の実証調査」に対する協力要請がありました。

本実証調査は、車輪のナットの緩みを検知し運転者に警告する後付けの製品を取り付け、この種製品の普及促進に向けた実証調査を行うものです。協力事業者は、各自動車メーカーの指定工場と同装置を取り付け・使用していただき、委託事業者からのアンケートに回答いただいた場合には、協力金が支払われるというものです。

製品取り付けには、製品により「4万円から6万円」又は「8万円から10万円」の費用と、その後の維持費用が必要（いずれも別途工賃が必要）となるのですが、協力金は製品の種別に応じ3万円又は5万円とされています。

この点をご承知いただいた上で、本実証調査にご協力いただける事業者には、別紙「大型車の車輪脱落事故防止の実証調査応募票」に必要事項をご記入いただき、9月5日（木）までに、下記担当者宛てにFAXで連絡をお願いします。応募いただきました事業者には、別途、車両情報等の調査用フォーマット等を送らせていただき、必要な調整をさせていただきます。

なお、製品の数に限りがありますので、多数の申し込みがある場合は、ご意向に沿うことができないことがありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

本件担当：適正化事業部 佐野
電 話：025-285-1717
FAX：025-285-8455

別 紙

公益社団法人新潟県トラック協会
適正化事業部 佐野宛

大型車の車輪脱落事故防止の実証調査応募票

国土交通省が行う「大型車の車輪脱落事故防止の実証調査」に協力します。

| | |
|---------|--|
| 事業所住所 | |
| 事業所名 | |
| 担当者氏名 | |
| メールアドレス | |
| 電話番号 | |
| 備 考 | |

事務連絡
令和6年8月28日

公益社団法人
全日本トラック協会 交通・環境部 御中

国土交通省 物流・自動車局 自動車整備課

大型車の車輪脱落防止（ハード対策）の実証調査について

平素より、国土交通行政に多大なるご協力を賜りありがとうございます。

標記、大型車の車輪脱落防止に関するハード対策につきましては、令和4年12月、「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会」とりまとめにおいて提言され、大型車メーカーは研究・開発を進め、今般、後付け対策品において製品化の目途がついたところです。本対策品は、ナットの回転角やホイールとの隙間をデジタル技術により検知し、運転者に警告するものであり、安全の確保のみならずドライバーの負担軽減にもつながることが期待されることから、このような後付け品の普及促進のために、実証調査を実施することとしております。

本実証調査について下記のとおり実施しますので、北海道、東北、北陸信越管内の各トラック協会へ周知・依頼いただきますとともに、本実証調査にご協力方よろしく願いいたします（詳細は各添付資料をご確認ください）。

記



○実証概要

- ① 積雪地域のトラック協会を通じ、傘下会員に、同事業への協力を呼びかけ。
【50台×11道県を目標、8月下旬～9月中旬】
- ② 協力事業者は、後付け品を購入・使用し、本実証調査の委託事業者（デロイトトーマツコンサルティング合同会社）からのアンケートに回答。【11月中旬～下旬】
- ③ 上記委託事業者は、アンケート回答があった事業者に対して、対象の製品に
応じて協力金5万円又は3万円を支払。

大型車メーカーが販売予定の車輪脱落事故防止対策品（後付け品）は、ナットの回転角やホイールとの隙間をデジタル技術により検知し、運転手に警告するものであり、安全の確保のみならずドライバーの負担軽減にもつながることが期待される。このため、このような後付け品の普及促進のために、実証調査を実施。

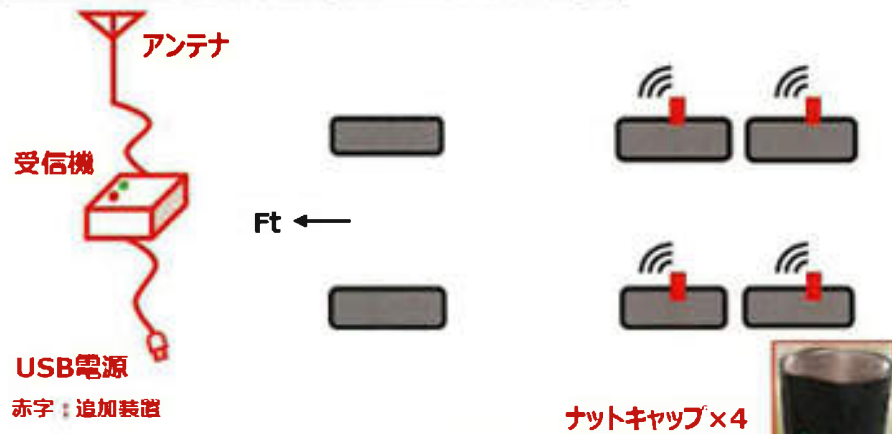
実証概要

- 国交省は、本事業について委託事業者と契約。【8月】
- 積雪地域のトラック協会を通じ、傘下会員に、同事業への協力を呼びかけ。【50台×11道県を目標、8月下旬～9月中旬】
- 協力事業者は、後付け品を購入・使用し、委託事業者からのアンケートに回答。【冬用タイヤへの早期交換の観点から11月末を〆切とし、年内に結果を取りまとめ】
- 委託事業者は、アンケート回答があった事業者に対して、協力金5万円又は3万円を支払。

| 後付け装置の概要 | 販売価格 (税抜き) |
|--|--|
| <p>●ナットとホイールの上にセンサーを挟み、ナットのゆるみに伴うナットとホイールの隙間を検知し、運転者席に警告を表示する。</p>  <p style="text-align: center;">ナット隙検知</p> | <p>取付：4～6万円+工賃 維持費：【3年毎】2～4万円+工賃 協力金：3万円</p> |
| <p>●ナットに、センサーのついたナットキャップを取付け、ナットのゆるみによるキャップの回転を検知し、運転者席に警告を表示する。 ※装着可能車両における留意点あり</p>  <p style="text-align: center;">ナット回転角検知</p> | <p>取付：8～10万円+工賃 維持費：【3年毎】2～4万円+工賃 ※初回に限り1年交換 協力金：5万円</p> |

ナット回転角検知（東海理化製）

■システム構成（6×2の場合）



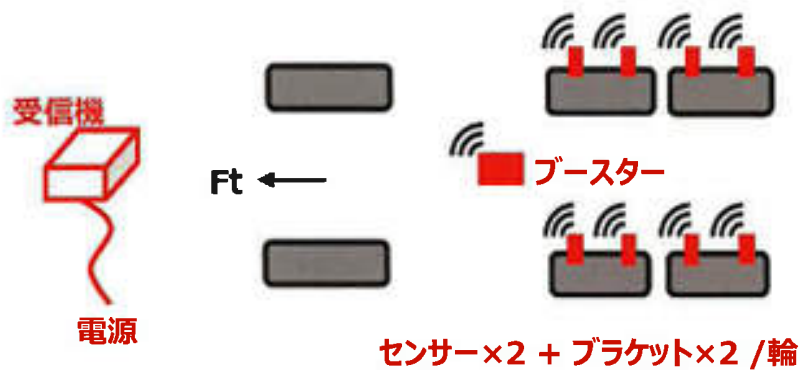
警報閾値 ホイールナット90°回転

■ゆるみ検知時の警報表示(警報解除)

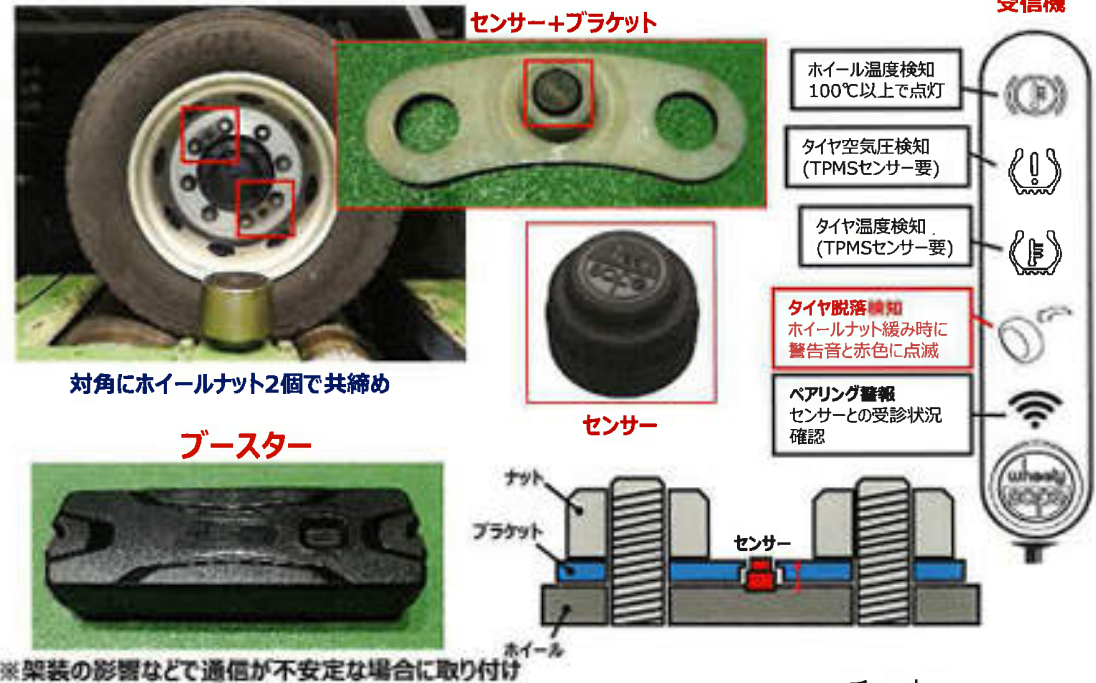


ナット隙検知 (Wheely-Safe製)

■ システム構成 (6×2の場合)



警報閾値 ホイールナット着座から1mm隙



■ ゆるみ検知時の警報表示(警報解除)



※装着可能車両における留意点【ナット回転角検知(東海理化製)】

取扱注意

ナット回転角検知(東海理化製)について、一部の車型/仕様において適合しない恐れがあります。適合については、ホイールボルトの出代(ホイールナットからの出っ張り量)が4mm以上18mm以下であることをご確認頂くまたは、最寄のサービス工場へご相談ください。

確認方法

ホイールボルトの出代が4mm以上18mm以下であることを確認してください。
ボルトの出代が範囲外だと、送信機を正常に取り付けることができず、送信機が外れるおそれがあります。



装着できない可能性がある車両(参考)

- 4社共通(いすゞ・日野・三菱ふそう・UDトラックス)
新車時にアルミホイールを装着していたが、その後スチールホイールに交換した車両(ホイールボルトの出代が18mm超)
- 日野自動車
プロフィアの低床4軸車(FW型車)でアルコア製アルミホイールを装着している車両(ホイールボルトの出代が4mm未満)
- 三菱ふそうトラック・バス
以下一覧表を参照してください。

○: 装着可, x: 装着不可, -: 設定なし

| ホイール種別 | ホイールサイズ | 大型(スーパーグレート) | | | | | | 中型増トン(ファイター) | |
|----------------|-----------|--------------|------|-----|-----|-----|---------|--------------|-----|
| | | FP-R | FV-R | FU | FV | FS | FY | FK-Y/Z | FQ |
| | | 4x2 | 6x4 | 6x2 | 6x4 | 8x4 | 6x4(低床) | 4x2 | 6x4 |
| Steel Wheel | 19.5 inch | - | - | - | - | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 22.5 inch | x※1 | x※1 | x※1 | x※1 | - | - | - | - |
| Aluminum Wheel | 19.5 inch | - | - | - | - | x | x | x | x |
| | 22.5 inch | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | - | - |

※1: Steel Wheelで装着不可車両でもボルトを交換すれば装着可能となりますが、別途、部品代と工賃が発生しますので、最寄のサービス工場へご相談ください。